

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和3年12月8日

番号	1	質問者	渕 本 稔	タイトル	幸せが循環するまちづくりを
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求める者
1 朝来市の成長戦略を問う			(1) 今後、人口減少により市税が減少したり、国からの地方交付税が縮減するなど歳入が厳しくなる。まずは無駄を省き、デジタル化を進めることによって効率化・コストダウンを図るべき。市長の見解を問う。 (2) 歳入の増大を図るために、稼ぐ自治体にならないといけない。ふるさと納税等を今以上に拡大したり、自治体としてのクラウドファンディングによってプロジェクトを推進することが必要だ。市長の見解を問う。 (3) 公共施設再配置計画によって今後、敷地面積の40%が縮減されていく方向だが、それだけでは市民の夢がなくなるし、Uターンをしようとする若者も少なくなる。大胆な大型投資によって需要を掘り起こし、成長戦略へ結びつけなければならない。市長の見解を問う。		市 長
2 J R 生野駅の跨線橋問題について			(1) 今年9月の生野町区長会において突然、J R 生野駅の跨線橋通路の撤去計画が示された。この問題の経過について、答弁を求める。 (2) 仮に跨線橋通路が撤去された場合、どのような影響が出ると想定しているのか、市長の見解を問う。 (3) ① 跨線橋通路は、どの程度老朽化しているのか。 ② 補修する場合、工事費はどの程度見込まれるのか。 ③ 市民の利便性を守るため、市も応分の負担をして跨線橋通路を維持していくべきだが、市長の見解を問う。		市 長

3 市民に対する医療の充実を	(1) 朝来医療センターにMR I の導入を求める市民の声は、大変大きなものがある。実現にむけて取り組むべきだが、市長の見解を問う。 (2) 市内における出産、および妊婦健診の状況について明らかにされたい。 (3) せめて負担の大きい妊婦健診だけでも、このとり周産期センターと連携して、朝来医療センターで行えるようにすべきだが、市長の見解を問う。	市 長
-----------------------	--	------------

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和3年12月8日

番号	2	質問者	嵯峨山 博	タイトル	明るく元気な朝来市を目指して
質問事項		質問要旨			答弁を求める者
1	子育て支援について	(1) これまでも子ども医療費については、高校生までの医療費無償化が求められてきた。会派「朝来市創生の会」においても重要なことであると考えている。この件について市長の所見を伺う。 (2) 高校生まで医療費を無償化することに対して、検討状況はどのようになっているか伺う。 (3) インフルエンザ予防接種について、12歳未満の子どもに対して、新型コロナウイルス感染症の症状が似ているインフルエンザの発症や重症化予防を図るため、予防接種費用の全額を助成することが、11月の臨時会で決定した。今後においては、高校生までインフルエンザ予防接種の全額助成をすべきではないか。 (4) 学校給食費無償化についてどのように考えるか、教育長の所見を伺う。			市長 教育長
2	公共交通について	(1) 路線バス、アコバスのあり方を抜本的に見直し、住民の利便性を確保することが急務である。市長の所見を伺う。 (2) ICocaが導入された。市民の利便性向上に向け、ICocaを活用した取組みを、福知山市などを参考に考える必要があると考えるがどうか。			市長
3	地域課題について	(1) 少子高齢化により、地域行事、地域環境整備等が行えない地域が増えている。これらの課題をどう考えるか。 (2) 全国に先駆け、少子高齢化による地域課題を解決するため、地域自治組織をつくり「協働のまちづくり」を進められてきたが、これまでの評価を伺う。 (3) 地域の活性化に向けたまちづくりを自治協が主体となっていく反面、当局の事業が減ってきており、支所がシンクタンク機能の役割を果たしていないと考えるが所見を伺う。			市長

4 教育現場について	(1) 教員の労働時間の短縮、業務改善等について、現状どのようなになっているか。それらの改善策をどのように考えているか。 (2) 全国的に子どもの自殺件数が増えている。本市においてこのような事案はないものの、危機意識は持つ必要があると考えるが、所見を伺う。 (3) 子どもの自殺を防ぐために、どのような対応を考えているか。	教育長
-------------------	--	------------

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3年12月8日

番号	1	質問者	足立義美	タイトル	身近な所から地球環境守るために
質問事項		質問要旨			答弁を求める者
1	地球環境を守るのは私たち一人ひとり	(1)	市内の小中学校で、地球温暖化や、内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）、自然環境保全について、どの学年でどの程度の時間、環境学習が行われていますか。		
		(2)	奥多々良木発電所、生野バイオマス発電所、南但広域ごみ処理施設、高効率原燃料回収施設に市内の小中学生はどの程度見学に訪れていますか。		
		(3)	生きた環境教育として、上記の施設見学等は、極めて有意義と考えますがいかがですか。		
		(4)	南但広域行政事務組合で処理しているごみの3割がプラスチックのようです。マイクロプラスチックによる生態系への深刻な影響が、地球規模で問題となってきました。さらにプラスチックごみの削減に取り組む必要があると感じていますが、市長はどのように思われますか。		
		(5)	国連気候変動枠組条約第26回締約国会合（COP26）の成果を踏まえ、朝来市としての今後の課題はどのようなことだとお考えですか。		
		(6)	市内で地球環境を守る活動に取り組んでいる団体はありますか。		
		(7)	市民に取り組んでほしい、あるいは、市民運動として取り組んだらよいと思われる地球にやさしい活動はありますか。		
2	ごみ収集業務について	(1)	ごみ袋の販売価格については、無料ないし、低額から高額まで、処理する各地方公共団体の考え方で、相当の開きがあるようですが、現在の価格は適正と考えておられますか。		

		(2) ごみ処理の経費は、実際には相当高額になっています。事業系ごみについては、全体の4分の1程度処理されているようですが、家庭ごみと同一料金となっているのは適正とお考えですか。 (3) 農地や水環境の改善に威力を発揮するEM菌を作り出す、生ごみ処理容器等購入費助成金制度をつくり、生ごみの減量化に取り組むべきだと考えますがいかがですか。 (4) 高齢者世帯、障がい者世帯を対象にごみの個別収集制度等早期に実現すべきと考えますが、市長の考えはいかがですか。 (5) これまでごみの個別収集制度等について、事業化に向けた検討をなされたことがありますか。あれば事業費はどれくらいを見込まれていますか。 (6) 大雨により河川高水敷に木材等のごみが大量に流入することが多発しています。災害ごみの処理について、現状はどのような処理が行われていますか。また、補助等支援制度はありますか。 (7) 資源ごみの持ち去りは、最近も発生していますか。 (8) 近年のリサイクル率とその動向についてお尋ねします。 (9) 一般的には、リサイクル率を向上させる手立てとして、分別回収をさらに細かく分けるという方法があります。現在は、10数種類に分別されていますが、さらに細分化する検討はされていますか。 (10) 集団回収事業助成金は、どの程度支出されていますか。また、近年はどのような動向になっていますか。 (11) 助成金の増額等により集団回収を奨励して、回収量の増加を図ることが、より資源化につながると考えますがいかがですか。	
--	--	---	--

		(12)	牛乳パックには良質のパルプが使用されているということで、別に回収されているように思いますが、回収後本来の用途にリサイクルされていますか。また、10数種類に分別されていますが、目的どおりリサイクルされていますか。	
		(13)	市内で、食用油の回収を行っている業者等や、食物残渣を家畜の餌として回収しているケースはありますか。	
		(14)	ボランティア活動として、不法投棄されたものの回収や、ポイ捨てされたごみの回収をしている人たちは、少なからずいらっしゃると思いますが、回収されたごみを処理する場合は、無料扱いになりますか。	
		(15)	上記のボランティア活動をしている人たちに対し、どの程度表彰されていますか。	

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3年12月8日

番号	2	質問者	加 藤 貴 之	タイトル	自動車に依存しない社会の実現を
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	自転車の通行 環境の整備に ついて	自転車は中高生・高齢者の移動手段の一つであると共に、市民の余暇活動であり、さらに観光手段としても推進されている。一方、本市においては、自転車は自動車に比べ交通手段としての位置づけが未熟である。市内において自転車のおかれている状況について整理し、必要な整備を進めていく必要があると考えられる。 (1) 本市における自転車通学について 生徒への安全指導や危険個所の点検整備等について、現状と課題を教育長に問う。 (2) 本市における自転車観光について ルート選定やイベント実施などのソフト面、道路整備やレンタサイクル等のハード面について現状と展望を市長に問う。 (3) 安全で快適な自転車通学・観光を推し進めるためには、通学路やサイクリングコースとして指定されている道路について、自転車道ないし自転車歩行者道の整備を全市的に行うべきだが、市長の見解を問う。			教育長 市 長
2	公共交通の利 便性向上につ いて	高齢化の進展によって公共交通の重要性は向上している。一方、既存民間バス路線の減便が相次いでおり、市独自の交通政策が求められる。 (1) 人口集中地域では小回りの利く移動手段が求められる。本市では令和元年に「グリーンスローモビリティ」の実証実験を行った。この実験の総括と今後の活用可能性について、市長の見解を問う。 (2) 郊外地域ではアコバスの充実が求められるが、一部路線では週2回のデマンドバスとなっている。沿線住民からは「予約が煩わしく、本数も少なく、移動手段になっていない」という声もある。市長の見解を問う。			市 長

3 買い物支援について	買い物、特に食料品の確保は住民の生活にかかわる問題である。特に、車を持たない高齢者のためには、地域の個人商店、移動販売や宅配等のきめ細やかなサービスが求められる。しかし、過疎地域である本市においては、事業者の収益確保が難しい現状がある。 (1) 現状、高齢者の買い物支援が十分に行き届いているか、市長の見解を問う。 (2) 買い物支援の維持・推進のためには事業者への助成や官民連携が必要と考えるが、市長の見解を問う。	市長
--------------------	---	-----------

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3年12月8日

番号	3	質問者	浅 田 郁 雄	タイトル	市民の為にやさしい社会を
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	介護保険料について	(1) 国民年金を受給している人は何人おられますか。又厚生年金を受給している人はどうか、お伺いします。 (2) 国民年金の最低額はいくらか、お伺いします。 (3) 介護保険料の最低金額は、いくらかお伺いします。			市 長
2	除雪について	(1) 枚田小学校への通学路の除雪が出来ていないと思うが、どうお考えかお伺いします。 (2) それに反して、梁瀬小学校の除雪は良く出来ていると思う。どうお考えかお伺いします。			市 長 教育長
3	夏休みの課題について	(1) 小学生の夏休みの課題について、提出前に親が採点し、直しを行なうと聞きますが、どの小学校でも、どの学年でもそうなのかお伺いします (2) 夏休みのような長期休暇の後は、登校拒否や自殺が多いように思います。それらを予防する為にも、新学期の始まる1週間前に、夏休みの課題を学校で教師が教えると良いと思いますが、いかがお考えか。			教育長
4	本市の水道管路の管理状態について	(1) 本市の水道事業で、水道橋は何基ありその点検、改修状態についてお伺いします。 (2) 本市の水道管の種類とその割合をお伺いします。 (3) 水道管の布設替えをどのように計画されているのかお伺いします。			市 長

5 和田山弥生が丘団地の未販売土地について	和田山弥生が丘団地の現状について、市としての考えをお尋ねします。 (1) 和田山弥生が丘団地の総区画数と販売済戸数を把握されていますか。 (2) 現在、兵庫県住宅供給公社はどのような販売計画を立てているかご存じですか。 (3) 販売計画のない用地について、今後どのような土地利用をされる計画かご存じですか。 (4) 弥生が丘団地の上部に 20 年以上にわたり販売実績のない土地がありますが、県が今後、この土地についてどんな利用計画を立てているか、把握されていますか。	市 長
6 公共施設の再配置と共にスポーツ施設の建設を	(1) 公共施設再配置計画の進捗状況をお伺いします。 (2) 総合スポーツ施設を建設する予定はあるのかお伺いします。	市 長
7 朝来医療センターの件について	(1) 全身を一度に調べることのできるPET検査の導入について、豊岡病院組合の構成市としての考えをお伺いします。	市 長

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3年12月9日

番号	4	質問者	尾 崎 里 美	タイトル	「人にやさしい市政を」目指して
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	健康福祉部の 仕事について	(1) 健康福祉部にはいくつの課があって、それぞれの課ではどのような仕事をしているか伺います。 (2) 健康福祉部と朝来市福祉事務所との違いについて伺います。 (3) 社会福祉課が担当する生活保護扶助費給付事業のうち、住宅扶助費を受給するためには、どのような手続き、手順が必要か、伺います。 また、その受給決定後に、社会福祉課と住宅扶助費受給者、家主との三者間において、不適切事実が発生していないか、伺います。			市 長
2	E T C 障害者 割引 2 年間放 置について	(1) 「E T C 障害者割引 2 年間放置」問題発覚後、同様の問題の再発防止について、その後どのような対策をされているのか、伺います。			市 長
3	児童虐待防止 について	(1) 当市での児童虐待防止策を伺います。			市 長
		今年の4月末と聞いていますが、担当課から、市民の家庭に「虐待の疑い」の通報があって訪問したいとの電話があり、その後担当課が訪問しましたが「虐待」の事実はなかったと聞いております。この点についての事実関係についてお尋ねします。			

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3年12月9日

番号	5	質問者	関 綾 乃	タイトル	住んでよかった朝来市に！
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	市民の意見を聞く広聴の機会について	(1) 現在、ふれあい市長室やまちづくりフォーラム、あさご未来会議など、行政が市民の声を広聴する機会にはどのようなものがあるか。 (2) どのようなメンバーで構成されているのか。 (3) そこでは、どのような意見が出て、課題解決へ向かうのか。課題にもよると思うが、一般的なプロセスについて説明を求める。 (4) せっかくの意見や課題解決も、市民皆で共有することが望ましい。広く周知するための手段を伺う。			市 長
2	学校給食とアレルギーについて	(1) 現在、アレルギーによる疾患が懸念されるため、該当する食材を取り除いた「アレルギー除去食」が必要な児童・生徒は何名か。 (2) アレルギー除去食は、アレルギー疾患を持つすべての児童・生徒が食べられるよう、全員分のアレルギー食材が抜かれていると聞く。その真偽はどうか。 (3) 給食は、年齢に応じ必要なエネルギーが確保できるように献立が作られている。除去食の場合、確保できているのか。 (4) 少しでも通常献立に近づけられるよう、何パターンかの除去食を、是非、検討頂きたいが可能か。 (5) 給食のおかずが冷たくて食べるのが楽しくないと、小学生から聞いている。給食センター近くの学校と、一番遠い学校の子供たちがた食べるおかずの温度は、具体的に何度か。 (6) 昨今の想定外の災害や食中毒・新型コロナウイルスが、給食センターを襲わないとは限らない。朝来市の南側エリアに、再度、給食センターを復活させてはどうか。			市 長 教育長

3 特別支援学級について	(1) 特別支援学級に通う児童生徒の今年度・次年度の人数は。また、学級数は市内でいくつあるのか。 (2) 特別支援学級担任については、特別支援学校教諭免許状を必要とする法令上の規定はないが、障害の種類及び程度に応じた適切な教育が行われることが望ましい。特別支援学級の担任のうち、特別支援学校教諭免許状を保有している率はどれくらいか。	教育長
4 全天候対応型運動場について	(1) 高齢者や就学前の親子が力いっぱい元気に体を動かせる全天候対応型運動場は、市民の健康を維持し、体を動かす意欲を促す効果があると考ええる。そのためにも、是非、建設を検討してはどうか。	市 長

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3年12月9日

番号	6	質問者	水田文夫	タイトル	住み続けたい元気で美しい朝来
質問事項			質問要旨		答弁を求める者
1	佐中 進藤家住宅について		(1) 江戸初期に建築された進藤家住宅、通称「佐中千年家」は朝来市指定文化財です。 実業家や歌人など歴史的な人物を輩出している進藤家です。特に進藤俊三郎(原六郎)はNHKの大河ドラマ「青天を衝け」の渋沢栄一とともに日本経済の礎を築いた人物です。歴史小説やテレビドラマで取り上げてもらうような取り組みはされていますか。 (2) 現在、所有者、兵庫県、朝来市で「古民家再生促進支援事業」で屋根の吹き替え、トイレの改修などの改修工事が行われていますが、今回の改修で万全なのか。中途半端な改修工事で終わらないか。 (3) 進藤家は、地域の代表的な建物です。改修後の活用についてどのように考えられているのか。 (4) 運営の財源は「ふるさと納税」を活用できないか。		市長 教育長
2	企業誘致について		(1) 「好きなまちで住む」には、暮らす・食べられる産業が必要です。移住促進の前に考えたいことです。 企業誘致における朝来市のセールスポイントは、何であるとお考えですか。 (2) 朝来市が行政的に動いて誘致した企業は、ここ10年間で何社ありますか。 (3) 朝来から撤退、廃業した企業は何社ありますか。 (4) 朝来には金属加工、金型で優秀な企業が多い、その技術に特化した企業の誘致に取り組みを進めてはどうか。 (5) また、地元が誇れる産業をより強くするために、その産業に適合できる人材の募集と育成策を。		市長

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3年12月9日

番号	7	質問者	松井道信	タイトル	安心・安全の街づくり
質問事項		質問要旨			答弁を求める者
1	朝来市の防災について	(1) 朝来市地域防災計画は平成26年の計画以降、令和に入ってから幾度となく、その時その時で修正されてきている。近年のコロナ禍は、当初の防災計画からは想定外であったかもしれないが、R3.9.27の予算決算特別委員会における審査意見に、「地域の防災計画策定には、多くの市民が参加し、実効性のある計画になるよう支援されたい。また、避難所の運営に対しても感染症対策を十分に」とある。この件を踏まえて朝来市地域防災計画について所見を伺う。 (2) 先般配布されたハザードマップは見づらく、印刷したものを配布するだけでは、その後の利活用に結び付きにくいのではないかと。過去（R3.9.7）の定例議会においても利活用に対するコメントがあり、そこで当局は「ハザードマップを含めた防災に関する情報提供を積極的に、」と言っているが、その後何がどのように変わったのか。市民に向けた工夫をさらに考える必要があるのではないかと。 (3) 朝来市では各集落単位に近いレベルで、指定緊急避難所（1次避難所）の指定をしているが、内閣府による手引きでは災害の種類ごとに指定をしている。しかしこうしたことが周知徹底されているのか。また、それぞれの施設の設備や立地状況をどの程度把握しているのか。 (4) 避難所でのマイノリティー問題を市はどのように考えているのか。子供や障害者・高齢者の問題を避けて通ることはできない。避難所に行くことが困難な人達への対応策はどうなっているのか。バリアフリーのみならず、様々な弱者の立場で物事を考えた避難所運営となっているのか。 (5) 朝来市において、防災関係の情報発信の方法をチラシ配布による一方的なスタイルだけではなく、地			市長

	域住民の意識の高揚を図るためにもD I G (Disaster Imagination Game)に取り組むことは有益と考えるが、その見解は。 (6) 年に一度の一斉避難訓練も、毎年同じことを繰り返すのではなく、行政自体が手始めにH U G (Hinanjyo Unei Game)に取り組んではどうか。また現在の防災計画では、想定されている避難所運営主体は行政職員となっているが、職員採用時の新人研修にH U Gを採用しても良いと考えるが。 (7) 毎年行っている一斉避難訓練は集落単位で独自に行っているが、地域の消防団と連携した活動のほうが効果も高いと考える。消防団との連携は、朝来市防災計画に記されているにも関わらずなぜ浸透しないのか。この件について市当局はどのように考えているのか。 (8) 河川の機能を半減させる堆積土砂について。堆積土砂は雑草が伸び放題で見た目に悪いだけでなく、災害発生時には、河川が本来有している機能の低下を招き十分な能力を発揮できない。又流木も同様で、危険を誘発させる大きな要因となっている。 その河川管理は県の領域となるが、堆積土砂撤去等の河川問題は、県への直接陳情は避けて、必ず市を通すよう指導がされている。しかしその結果、対策は市が直接対処することなく、あくまで窓口に過ぎない。さらに農業用水となれば、管理は県から区など地域での自主的な管理となる。では河川管理に対する市の役割は何なのか。 (9) A E Dの存在は知っていても、なかなか身近なところがないのが現状だと思います。市は是非とも更なるA E D導入の促進を図るべきではないだろうか。A E Dの導入によって救える命もたくさんあるはず。ただA E Dは高価ゆえになかなか浸透しないし、導入後も維持費が発生する。そうした時に導入を検討されている団体に対して、市から補助金を出すことを検討してはどうか。 (10) 朝来市の防災を考えたとき、第三者となる地域の	
--	---	--

	防災リーダーや防災士の存在は大変重要な存在だ。こうした専門的な知識を有する方々を把握しておくだけでも心強い。広報で受験者に対しての補助制度を記すだけでなく、朝来市として防災リーダーや防災士を積極的に育成すべきであり、有資格者に対しても、その力が発揮できる活動の場を提供し、平時から災害に備える訓練を行うだけでなく、災害に対する市民のスキルアップを図るべきと考えます。	
--	--	--

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3年12月9日

番号	8	質問者	上 田 幸 広	タイトル	幸齢社会を目指して
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	高齢化社会について	(1) 近年の朝来市の高齢化率の動向（県内平均との対比を含む）と将来予測を伺う。 (2) 朝来市には長寿をお祝いする事業があるが、100歳と最高齢者など該当者が少数である。健康を維持されている高齢者や、地域の活力を高める活動を長年に行っている高齢者に対して、新たに表彰する事業を行ってはどうか、ご所見を伺う。 (3) 高齢者の介護予防と認知症予防の観点から、交流の場・ふれあいの場として市内温泉施設への入浴補助券を作成してはどうか、ご所見を伺う。 (4) 朝来市内の要介護4、5の在宅介護者を含む寝たきりの方の人数を伺う。 (5) 在宅のみで介護を行う介護者には多くの身体的・精神的負担が大きいと考えられるが、行政からの声かけや近況掌握など、介護者への配慮はされているのか伺う。 (6) 寝たきりの方への支援として「訪問理美容サービス」や「寝具・洗濯乾燥サービス」を行っている自治体もある。朝来市においてもこの様なサービスを行うべきと考えるが、ご所見を伺う。			市 長
2	新型コロナワクチン接種事業について	(1) 3回目のワクチン接種のスケジュールについて伺う。 (2) 交通手段の確保が困難な高齢者の方へのタクシー助成は、引き続き行われるのか伺う。 (3) 高齢者の予約方法として、コールセンターへの予約の殺到を避けるために、予約方法を接種日指定方式に変更すべきと考えるが、ご所見を伺う。			市 長

	(4) ワクチン接種後の体調不安を軽減するために、集団接種会場を市内 1 ヾ所にせず、それぞれ旧町内に固定すべきと考えるが、ご所見を伺う。 (5) 接種後の記録や注意事項など、またコロナワクチン以外のワクチン接種の記録なども記載できるワクチン手帳を作成してはどうか、ご所見を伺う。	
3 小中学生の荷物の重量化について	(1) これまでも小中学生の荷物の重量化について問題になっているが、朝来市の小中学生のカバンやランドセルなどの荷物は軽くなり改善されたのか、現状を伺う。 (2) 自分の身体に合わない重さや大きさのランドセルを背負ったまま、長時間通学することによる心身の不調を訴える子どもを「ランドセル症候群」と呼び、3人に1人が肩・腰・背中に痛みがあるという調査報告もあるが、朝来市においてこのような調査は行っているのか伺う、また行われていないならば調査すべきと考えるがご所見を伺う。 (3) 文部科学省は、教科書などを学校に置いて帰る「置き勉」を 2018 年から推奨しているが、朝来市においても「置き勉」を許可する配慮がされるなど、各学校は適切に対応出来ているのか伺う。	教育長
4 電子図書館について	(1) コロナ禍の影響により公立図書館において電子図書館の導入を検討する自治体が増加している。朝来市においても生活サイクルや利便性の面で、直接図書館を利用出来ない市民の為に、電子図書館を導入すべきと考えるが、ご所見を伺う。 (2) 市内の小中学校では、一人 1 台のタブレット端末の貸与がされている。電子図書館にアクセス出来るようにすれば、読書習慣の向上にも繋がると考えるがご所見を伺う。	市長 教育長

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3年12月9日

番号	9	質問者	藤 本 邦 彦	タイトル	持続的発展めざす地域の課題は
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	地域自治組織 の評価と課題	(1) 与布土地域自治協議会が総務大臣賞を受けたが、何が評価されてのことか。また、表彰の意義についてどのようにお考えか。 (2) 今回の表彰は他の市内自治組織にも良い影響を与え得るものか。何か還元できることはあるのか。 (3) 市内の自治協議会など地域自治組織はそれぞれ設立から10年から15年を経過し、様々な課題はありつつも、現在大変活発に活動されているように感じる。持続可能な地域コミュニティの核としての地域自治組織の重要性はさらに高まっている。 しかし、本当にこの先も存続できるのか。10年後、20年後も現在のような活動が持続できるのか。あるいは全く形を変えるべきなのか。 将来への展望をふまえ、今なすべきことに取り組む必要があると思うがどのようにお考えか。そして行政の役割についてどのようにお考えか。			市 長
2	教育に果たす 地域の役割について	(1) 文部科学省が本年9月に、21世紀出生児縦断調査のデータ分析から「小学生の頃に体験活動などをよくしていると、その後の成長に良い影響が見られる」という報告を行った。この報告内容をどのように思われるか。 (2) この報告では地域社会が教育に果たす役割が大きいとされている。地域が多様な形で子どもたちの「体験」の場や機会をつくっていくことが重要であるとのこと。全く同感である。朝来市としても学校と地域の連携を強め、すべての子どもたちが地域の中で多様な「体験」ができることを教育の目玉にしてはどうか。 (3) 子どもたちが地域の自然にふれる機会が減っているという声を聴く。 地域自治組織など地域の有志が地域の子どもたちに、自然とふれあう、自然の中で遊び、学ぶ機会を作			教育長

	ることがとても大切だと考えるが、その上で、小学校、中学校でも地域と連携しながら積極的に取り組んで頂きたいと考える。それは自然豊かで地域が元気な朝来市だからこそできる、朝来市ならではの教育である。どのようにお考えか。	
3 地域の豊かな自然を活かすために	(1) 市内には大変豊かで貴重な自然環境が残されている。神戸新聞でも度々取り上げられ、市内のオオサンショウウオ調査、保護活動についての記事が現在連載されている。また、朝来市広報のオオサンショウウオに関する特集記事は大変な力作であり評価したい。 朝来市の自然環境は大変貴重で素晴らしいが、単に自然を守らないといけない、保全すべきということにとどまらず、いかに活用するかということをもっと考えるべきである。これは朝来市行政の課題であり同時に地域の課題でもある。 観光や体験事業に活用することも考えられるが、子どもたちや若い世代がその価値にふれることが最も大切。子育て環境としての価値を活かし、子育て世代の移住促進に活用することもできる。 市は自然環境をどのように評価し、活用しようと考えているか。 (2) 令和4年度から計画期間となる第3次朝来市総合計画では事業実施方針に、生物多様性地域戦略策定に取り組むことが明記されている。 今まで、オオサンショウウオのことは文化財課と生野支所、コウノトリのことは農林振興課という具合だったが、オオサンショウウオが生息する河川の生態系全般、あるいはコウノトリが餌場とする水田をはじめとした農地や水場などの生態系全般についてなど、今まで以上に幅広くトータルに自然環境を把握していく必要がある。当然、特別天然記念物以外の自然環境、動植物についてもしっかりと把握し、その上で保全と利活用を進めて頂きたい。戦略の策定と実施について具体的にどのように進めていくお考えか。	市 長

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3年12月13日

番号	10	質問者	森 田 龍 司	タイトル	朝来の活力あるまちづくりを拓く
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	第3次朝来市総合計画について	(1) 第3次朝来市総合計画のキックオフ研修として、職員（全課長）を対象に基本計画の共有と実効性の高い政策の推進を図るための研修を実施していますが、その内容について尋ねます。 (2) 今回のキックオフ研修は、職員の基本構想の共有がテーマだったと思いますが、ねらい通りの成果はありましたか。また、研修から浮かび上がった課題等はありませんか。 (3) 基本構想の共有はできたのでしょうか。今回の研修から職員のアウトプットに変化が表れてくるのでしょうか。 (4) 職員研修については、基本構想がぶれないように、市民の幸せについて、ありたい姿について、そして、このまちがどのように変化していくのかということを侃々諤々と議論をしていただきたい。今後もキックオフ研修と定期的な研修が必要と思いますが、市長のお考えをお聞かせください。 (5) 第3次朝来市総合計画キックオフ「あさご未来会議」を実施していますが、その内容について尋ねます。 (6) 市民の反応についても尋ねます。 (7) グループワークでは「一人一人が幸せを実感するための、みんなも合言葉づくり」として、嬉しかった言葉、感動した言葉、勇気づけられた言葉などを語り合うことで、幸せの姿の共有につなげるワークを行っています。ここは高い評価ができますが、参加者には、市民の幸せの姿を、わかりやすく共有できたか尋ねます。 (8) 今後のキックオフ研修や市民を対象にしたフォー			市 長

	ラム等の予定について尋ねます。 (9) 令和4年度の予算編成が進められているところですが、令和4年度の予算編成について、市長は、総合計画を基軸とした編成としていますが、その概要について尋ねます。	
2 デジタル化の推進について	(1) デジタル化による業務改革、高い行政サービスの提供など朝来市におけるデジタル化は急務であります。市長はデジタル化の推進について、どのように考えていますか。 (2) 第3次朝来市総合計画と今回の第4次朝来市行財政改革大綱におけるデジタル化の推進については、行政サービスを自治体DXの取組によるスマート自治体を目標にしていますが、デジタル化による地域経済や観光振興には全く触れていませんが、市長の考えを聞かせていただきたい。 (3) 朝来市商工会が実施した電子地域通貨「あさごPay」について尋ねます。 (4) 電子地域通貨「あさごPay」を、コロナ禍で経済的打撃を受けた事業者への消費喚起や今後の域内経済の循環促進のために導入することが考えられます。導入について尋ねます。	市 長
3 環境問題の現状について	(1) 公害防止協定が必要とされる市内企業や事業者と農業施設などについて、市及び地元との協定がすべて締結されているのか。現状について尋ねます。 (2) 公害防止協定が必要であるのに、締結されていない事業所や施設については、その対応をどのように考えているか尋ねます。 (3) 水と土壌の汚染は、目視でも判断ができ検査体制も整備されているが、臭いについては判断が難しいとされるが、その検査などの体制は明確に整っているのか尋ねます。 (4) これまでに行政指導を行った事例はありますか。	市 長

	(5) 現在、市民からの苦情はありますか。その対応についてはどのようにされていますか。 (6) 朝来市生活環境条例にあるように、市民の生活に支障がある場合には、市長の責務として徹底した原因究明と再発防止と協定の締結が必要です。このことについて市長はどのようにお考えですか尋ねます。	
--	--	--

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3月12月13日

番号	11	質問者	吉 田 俊 平	タイトル	目配り、気配りの行政を！
質 問 事 項			質 問 要 旨		答 弁 を 求める者
1	農業振興について		(1) 米価の下落が続いている現状をどの様に考えているのか。島根県奥出雲町の第三セクター・奥出雲仁多米株式会社の取組みを参考にしながら、朝来市も早期にあさごブランド米に取り組む必要があると考えるが、どうか。 (2) 現在の農地をこれまでと同様に保全するには、大規模農家向けの施策と小規模農家向けの施策を同時に実施しなければならないが、これまでは小規模農家向けの施策が不十分であった。そこで、小規模農家向けの施策の一つとして農機シェアなど農機具更新を促進する施策を検討すべきではないか。 (3) 地球温暖化対策が全世界規模で検討されおり、アメリカではカーボン(炭素)プライシングの一形態としてのカーボン(炭素)クレジットが盛んに行われ農家に大きな収益をもたらしているようである。森林のカーボンクレジットは私が10年前くらいに提案して現在は市の貴重な財源となっているが、森林の他にも日本は海のブルーカーボンに取り組もうとしているようである。そこで新たに朝来市として水稻にカーボンクレジットが適用できないか研究する考えはないか。		市 長
2	健幸づくりに ついて		(1) 私が平成29年に私案として「健幸長寿なまちづくり推進条例」を提案した理由は、身内や身近な方が亡くなられたりしたことや病気になられたことを契機にして、幸せには健康が必要だと考えたからである。そして、令和2年3月26日に「健幸づくり条例」が制定されました。同条例第2条で、健幸づくりとは「市民が、心身の健康の保持増進を図るとともに、生きがいを感じ幸せに暮らすための取組をいう。」と定義されているが、未だに多くの方、ご本人やご家族などが、がんなどの様々な病気に苦しんでおられます。この現状を藤岡市長はどの様に感じておられるのか。また、がんは二人に一人が罹ると言われている。そこで、健幸づくりのために心身の健康の保持増進を図る施策		市 長

	として、がん対策を最優先に掲げ、がんで苦しむ市民やご家族が少しでも少なくなるようにして頂きたいと切に願いますが、藤岡市長のお考えを伺いたいと思います。 (2) 認知症の予防や長生きの秘訣の一つは、社会性の確保だと言われている。人と接したり話したりすることが如何に大事であるかは容易にご理解頂けると思う。しかし、現在に市の総合健診では高齢者の聴力検査がなされていない。耳が聞こえにくくなっていることに気付いていない高齢者が如何に多くいるか。そのことがQOL（クオリティーオブライフ）を如何に下げているか。そこにこそ、目配り気配りをする行政であって欲しいと願いますが、健幸づくりのために生きがいを感じ幸せな暮らしを図る施策として、一定年齢以上の高齢者を対象にした聴力検査を実施する考えはないか。	
3 敬老施策について	(1) 温泉ミニデイが平成 30 年度に廃止されてから 3 年が経過しますが、私も介護保険事業としての実施には無理があったと考えています。また、温泉に入ってから飲酒をすることで各種疾患を生じさせることも危惧します。しかし、温泉ミニデイの効果を否定している訳ではありません。高齢者が社会性を持つきっかけとしても、また温泉に入ることによって血行の循環を促し、肺の換気機能を高めるなど心身に寄与すると考えています。そこで、温泉ミニデイを各自治協議会の敬老事業に位置付けてとはどうかと考えますが如何でしょうか。 (2) 認知症高齢者位置検索システム助成事業の創設について、一年前の 12 月定例会で問題提起を行いました。その際には「本市としましても事業の有効性や必要性については検討してまいりたい」との回答でしたが、その後にも行方不明者は発生しております。他市町の状況を調べますと、介護保険事業として特別会計で実施している自治体と、一般会計で実施している自治体があるようでありますので、朝来市として行方不明者や高齢者の命をどうお考えなのか伺います。	市 長

4 教育振興について	(1) 文部科学省の平成 30 年度子ども学習費調査結果から、学校教育費は公立小学校で 63,102 円、公立中学校で 138,961 円でありました。学校教育費には授業料、修学旅行・遠足・見学費、学級・児童会・生徒会費、PTA 会費、その他の学校納付金、寄附金、教科書費・教科書以外の図書費、学用品・実験実習材料費、教科外活動費、通学費、制服、教養・その他、その他とありますが、これらの内で、教科書以外の図書費及び修学旅行費については公費で支出すべきと考えますが、前向きに検討する考えはありますか。	市長 教育長
5 文化財保存について	(1) 糸井の大カツラはその樹齢が 2000 年とも言われ、国指定文化財等データベースでは「カツラの巨樹として全国稀に見るものである。」と説明されている。私たちはこの貴重な文化財を後世の幾世代でも引き継いでいかなければならないが、現在の保存状況は樹木周囲の砂は流出し洗堀しており、大カツラに至る道も管理主体やその位置付けも曖昧なままとなっている。そこで、糸井の大カツラの保存状況を改めるとともに、管理道の位置付けも林道等に改めるべきと考えるがどうか。	市長 教育長
6 市道の道路新設改良について	(1) 市道虎臥城線と市道大路ダム線は虎臥城線が優先道路となっていると理解するが、本来であれば生活道路である大路ダム線が優先されるべきである。また、生徒児童が通行する大路ダム線の交差点には横断歩道の表示さえない。そこで、市道大路ダム線が優先道路となるように外側線や横断歩道を含む交差点改良を行うべきと考えるがどうか。 (2) 和田山体育センターから南に向かう新設道路の計画は長らく凍結している、いつ事業着手するのか。	市長

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3年12月13日

番号	12	質問者	横 尾 正 信	タイトル	公共交通の見直しについて
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	全天候型グラ ンドの建設に ついて	(1) 高齢者の健康維持、運動・スポーツの維持の為に、雨天、雪に拘らず、使用できる屋根付きの屋外グラウンドが、必要ではないか。 (2) 同じように、幼児を抱える親が、雨や雪の日にも子供を連れて遊びに行ける児童館のような施設が必要ではないか。			市 長
2	朝来市の公共 交通の見直し について	(1) 現在のアコバス体制では、免許証をいずれ返納したと考えている高齢者であっても、返納をためらうのではありませんか。朝来市の自動車免許の返納率はいくらかご存知か。この返納率をどう評価するのか。 (2) 昨年3月に新たな公共交通計画が策定されました。その中の、市民アンケート、地域ヒアリングについて質問します。 地域ヒアリングの要望や提案について、どの程度対応されましたか。 (3) 今回の公共交通計画で、デマンド型乗合タクシーへの要望や提案がありながらも、なぜ、導入を検討しなかったのですか。 (4) デマンド型乗合タクシーをすでに導入している近隣の先進事例を例にあげます。少しは、見直しにあたっての参考になるのではありませんか。 ① 丹波市の事例 ② 西脇市の事例 (5) 市の公共交通計画において、現在のアコバス体制を見直して、デマンド型乗合タクシーの導入を検討すべき時期にきているのではありませんか。			市 長

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3年12月13日

番号	13	質問者	藤 原 正 伸	タイトル	基礎自治体のあり方として
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	予防接種事業について	(1) 2019年（令和元年）9月定例会で、带状疱疹予防接種の助成を提案しましたが、その後全国の自治体でも、带状疱疹ワクチンの公費助成の動きが増えています。住民の健康を守るため、任意予防接種助成への積極的な取り組みが必要と考えます。今一度、带状疱疹予防接種についてお考えを伺います。			市 長
2	生涯学習の推進について	(1) 生涯学習は個人の自己実現を基本としつつも、地域づくりを担うことができる人材の育成という役割が重要になっていると考えますが、生涯学習の意義についてご所見を伺います。 (2) 生涯学習センターの運営をはじめとする現状の生涯学習の推進事業は、生涯学習の意義に照らし、目指す形になっているか、その評価について伺います。			市 長
3	予算編成への市民参加について	(1) 予算編成への市民参加について、ご所見を伺います。 (2) 地域自治協議会に対する地域自治包括交付金について、その一部を事業提案に基づく予算要求に応じた配分とすること等により、自治意識の向上と協働のまちづくりの推進が期待できると考えますが、ご所見を伺います。			市 長
4	G I G Aスクール構想の前倒し実施を受けて	(1) 新型コロナウイルス感染症に係る朝来市対処方針では、小中学校の教育活動における感染防止対策として、児童生徒が出席停止となる場合においてI C Tの活用も含めた学習支援に配慮するとされています。どのような対応を準備されているか伺います。 (2) 整備されたI C T機器を有効活用することが、今後の第一の課題であり、児童生徒の学習が中心ですが、教職員の校務の情報化、効率化も視野に入れるべきと考えます。ご所見を伺います。			教育長

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和3年12月13日

番号	14	質問者	日 下 茂	タイトル	子育て家庭に緊急支援を
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	子育て家庭の 貧困と生活困 窮者への支援	(1) 子育て家庭の貧困について、現状を把握しているか。また、有効な子育て支援についてどう考えるか。 (2) 子育て家庭に対して、就業と子育てを支援する考えはあるか。 (3) 「お仕事大相談会」は民間会社の紹介のみか。市役所が参加する考えはないか。 (4) 子育て家庭に対して、行政からの支援策は考えていないか。例えば、学校給食費や保育料等の無料化、減額化についてどう考えるか。 (5) 指定席化している再雇用や天下りを削減し、臨時雇用制度を設定する考えはないか見解を求める。			市 長 教育長
2	市営住宅の現 状と対策は	(1) 市営住宅の入居率はどうか。 (2) 入居率が低いならば、その原因と今後の対策についてどう考えるか。			市 長
3	職員の管理体 制について	(1) 相次ぐ公用車の交通事故、職員の事件に職員自身の危機感が欠如していないか。事実関係と市長の見解を尋ねる。 (2) 今後の指導について答弁を求める。			市 長